福井県立勝山高等学校学校評価委員会

令和6年度 勝山高等学校 学校関係者評価書

観点	・学校評価書の成果と課題が適切かどうか ・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か ・学校評価アンケートの実施方法と内容に関する問題点について ・その他
評価者	PTA会長・PTA副会長（3名）
ご意見 （教育課程・ 学習支援）	・カリキュラム・ポリシーに掲げた教育活動を実施するという目標値は、教員による評価は絶対評価となるので、他の評価方法もあっていいのではないか。 ・ICTデバイス活用について、現在使用しているクロムブックは効果的なのか。例えば、別の機種の使用はどうか。ノートパソコンのウィンドウズ仕様は使いやすく、大学進学においても使い勝手を考慮すると便利である。 ・今後のICTデバイス活用において、重要なのは情報収集から情報発信ではないか。そのための方法を検討していって欲しい。 ・スマホの活用も一つの方法ではないか。（なかなか難しい面もあるが） ・ICTの授業についてこれない生徒の対応については、早め早めに手を打っていく必要がある。
ご意見 （生徒支援）	・挨拶については、どの程度の挨拶が望まれているのか。 ・「できていない」と回答した数字について、その実態（生徒や保護者、教員）を把握するのも大事だろう。なぜ否定的な回答をしたのか気になる。
ご意見 （進路支援）	・生徒の進路意識が、保護者が思うより高いのは良い傾向である。 ・京都大学への学校訪問は、非常に生徒自身のモチベーションが上がって良い企画である。このような企画を今後も継続していって欲しい。出来れば様々な大学へも行けるとよい。 ・生徒にとって、本当に行きたい大学へ訪問するのが理想であり、学校全体として動いてくれるとうれしい。 ・進路の話については、もっと親子の会話をしてもらえるような方策があるといい。
ご意見 （保健管理）	・学校評価書に清掃活動についての項目は必要なのだろうか。 ・ぜひ生徒の体調管理に関する評価を入れて欲しい。自身の体調管理を気にすることは、大変重要な事だと考える。
ご意見 （ 校外との連携・ 情報の発信）	・「学校外との連携」というのは、どういう状況を指しているのか。この目標について、教員はどのように考えているのか知りたい。 ・探究の発表は、非常におもしろかった。十分に探究の成果が出ていると感じた。 ・最初は探究のイメージがなかなかつかなかったが、生徒の満足度や発表の様子を見ると成長の跡が感じられ、探究でどのような学びをするのかが理解できてきた。
学校関係者評価の結果をふまえた今後について	・今後さらに必要と思われる重点目標については、新たに追加を検討したい。 ・ある程度保護者にも理解され始め、徐々に成果が出てきた探究に関して、さらなる進化に向けたスクールプランの改良にも手を加えていきたい。